



ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当:上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-526-5111 (内線1406) FAX.025-526-6114

ホームページ⇒

ふるさと上越 🔍



光ヶ原高原 夕焼けに染まるそば畑 撮影 上越市在住 T・Kさん

「たより」No.273 目次

会員数とふるさと市場報告	1
Jネットの活動とお知らせ	2
とれたて上越コーナー	3
・上越の行事・展示会	
・上越の旬の話題	
「あっぱれ!ご城下町高田の花めぐり」、	
「ふるさとゆかりのパラスリートの活躍」	
いしずえ上越	5
・エドウィン・ダンがやってきた頃の直江津はどんな町? (その2)	
桑山有紀	
会員ひろば.....	7
古里に思いはせ	大坪満男
上越産品販売のお知らせ	7
鯉橋師匠高座予定	8
Jネットからのお知らせとお願い	8

※ホームページ「ふるさと上越ネットワーク」では、「たより」を全ページカラーでご覧いただけます。

会員数と「ふるさと市場」販売報告

(1) 会員は現在 598 名です。(令和 3 年度目標 610 名)

(2) 「ふるさと市場」(9月合計)の販売状況 118点 ¥213,731 (前年同月 128点 ¥224,212)

Jネットの活動とお知らせ

1. サロン開催

今回は10月14日(木)、その次は11月11日(木)。ご参加をお待ちしています。

コロナ禍で、毎月の東京サロンは休会中、名古屋と近畿サロンも開催は難しい状況です。そこで、本年7月からオンラインにて、毎月第2木曜日にサロンを開催しています。実際のサロンと異なり、全国どこからも参加できます。

さて、9月9日(木)も、運営委員会の後、午後5時過ぎより、オンラインにて、Jネットサロンを開催しました。参加者は多くはありませんが、それでも、午後7時の閉会まで目いっぱい、お酒を交わしながら、参加された皆さんから繰り出される話題に、楽しく花が咲きました。

毎週英国の友人と話をするというM会員曰く「コロナ禍で会えないが、その代わり、リモートのおかげで、定期的に英語を話す機会を得ている」。とてもいい時間のようです。

但、そうは言っても、やはり、実際に集まるサロンが待たれるところです。

【次回のサロン】オンライン開催。

10月：10月14日(木)、11月：11月11日(木)、

12月：12月9日(木)

いずれも、時間は17:15 - 19:00。

オンラインにて開催(予定)。

お申込みは、事務局宮里 k.miyazato@araipt.co.jp まで。

URLをお届けします。

ご参加は超簡単、クリック1回で参加できます。未体験の方も是非、ご参加ください。事前に操作方法もお手伝いします。



令和3年9月9日
午後7時閉会まで参加したみなさん。

2. いま旬のホームページ(HP)をご覧ください。

おかげさまで、JネットHPの閲覧は、国内、海外を合わせ大きく増えております。内容も、上越市の18枚の写真の他、次のように掲載は多様です。

- ・お知らせ：上越関連TV放映や、上越産品販売のマルシェと雪國商店など。
- ・チャレンジ上越、とれたて・なんでも上越：「たより」掲載の上越記事など。
- ・「たより」：全頁カラーで過去2年分を掲載。
- ・フォトギャラリー：上越の四季の写真多数。
- ・他HPへのリンク：上越市、上越観光ナビ、当会特別賛助会員7社のHP。

ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。

Jネット会員は、上越タイムス電子版ならびに上越ケーブルビジョン(JCV)の動画を閲覧できます。上越妙高エリアの今をお楽しみください。

◎上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックしHPへ
- ③ 下記のID・メールアドレス・PSWにてログインしてください



※上記は11/30まで。12/1より使用できるID.PSWは11/25号にてお知らせします。

1. 上越の行事・展示会

(1) 第16回 越後・謙信SAKEまつり 2021

毎年10万人以上の来客者が集まる越後・謙信SAKEまつりは、コロナ禍の中、昨年は、オンラインのみでの開催でしたが、今年は感染対策を十分に考慮したうえで、高田本町商店街を中心とした物販とオンラインを合せた形で、次のとおり開催しています。ぜひとも、ご参加ください。

会 期 SAKEまつり月間：令和3年10月1日（金）～同10月31日（日）

本祭日：令和3年10月23日（土）、24日（日）

物 販 高田本町商店街 およびオンライン <https://www.kenshinsake.com/>

(2) 上越市市制施行50年記念特別展 「上越のみほとけ―「越後の都」の祈り―」

かつて上越市には越後国の政治・経済、そして文化の中心である越後国府がおかれ「越後の都」として栄えてきました。そのため、上越市内には国指定重要文化財をはじめとした優れた文化財が数多く伝来しています。

本展では、市内の文化財のうち国指定重要文化財・新潟県指定文化財を含む仏像の優品を一堂に会し、仏像を通じて繁栄した「越後の都」の文化を紹介します。

期 間 令和3年10月9日（土）～同11月21日（日） 会 場 上越市立歴史博物館

2. 上越の旬の話題

(1) あっぱれ！ご城下町高田の花めぐり ― 昭和初期の結婚式を再現 ―

観桜会などで江戸時代の暮らしぶりを伝える寸劇を披露してきたお馬出しプロジェクト（宮越紀祢子代表：「たより」令和2年12月25日号に掲載）の一座は、9月19日（日）に、「あっぱれ！ご城下町高田の花めぐり」と題して、人前結婚式を演出した。

昨年入籍したが、コロナ禍で式も披露宴もなかった新婚カップルは、雁木通りプラザ広場で、結婚式のセレモニーに臨み、その後、「たかだ花ロードウィーク」が開かれている本町通りを練り歩いた。



仲人夫妻役と親戚代表役から祝福をうける新婦

結婚式には、長持ち唄や高砂が披露され、

三々九度を交わした後は、鯛や酒樽も登場、町内練り歩きもあり、昭和初期を思わせる式となった。

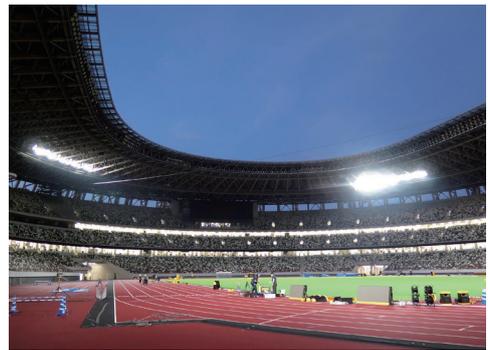
会場50名ほどをはじめ、商店街でも多くの人たちも心からの祝福を送り、人前結婚式は大いに盛り上がった。



(2) ふるさとゆかりのパラアスリートの活躍

7月23日に開幕した東京オリンピックとその後の8月23日に開幕した東京パラリンピック。

皆さんも、各国のトップアスリートの競演から、心を揺さぶられるほどの感動とともに元気と勇気をもらったのではないのでしょうか。私も東京五輪に準備段階から日本サッカー協会と日本陸連の仕事でかかわらせていただき、「スポーツが全世界に力を与える」ことを信念に奮闘し、感動する毎日でした。



国立競技場 撮影 霜越隼人さん

中でもパラリンピックでのパラアスリートの素晴らしい躍動は、人類の挑戦と無限の可能性、そして希望の光を強く輝かせていて、とても強い感銘を受けました。そんなパラアスリートの中から東京2020大会に出場していた上越ゆかりの方々を紹介したいと思います。

一人目は石浦智美選手。

石浦選手は上越市立北諏訪小学校出身です。視覚障害では最も重いS11クラスの決勝進出したパラ水泳女子50m自由形S11では、見事7位入賞を果たしました。また今大会から初採用された混合400mリレー（視覚障害）決勝にも第3泳者として登場、順位は5位でしたが、日本新記録を樹立する立役者となりました。

二人目は永田務選手です。

永田選手は村上市出身ですが、村上桜ヶ丘高校卒業後、自衛隊高田駐屯地に勤務します。その高田駐屯地の陸上部でめきめきと記録を伸ばし、マラソンにも挑戦していきませんが、高田駐屯地除隊後に職場での事故で重傷を受け片腕機能障害になりました。今大会最終日に開催された男子マラソンT46（切断・運動機能）では3位でゴール、見事銅メダルに輝きました。パラ陸上連盟会長の増田明美さんがNHKの中継解説でも「大会直前もゆかりの高田駐屯地でかつての恩師とともに猛練習に励んだんですよね」と高田由来のエピソードも披露してくれていました。

故郷由来の世界に挑むアスリートを応援してほしいと思い、筆を執りました。ふるさと上越を愛する皆さんからの応援も今後ともよろしく願いいたします。

（霜越隼人一名立区出身 記）

(3) 「川上善兵衛ものがたり」の発刊

株式会社岩の原葡萄園は、このほど、「川上善兵衛ものがたり～次女・トシが描く『日本のワインぶどうの父』の姿」を発刊した。

2段組み180頁の本書は、副題にある通り、次女トシの目からみた善兵衛さんが小説仕立てで描かれている。情報や資料が満載のうえ、善兵衛さんの人となりや情景がよくわかる。

善兵衛さんファンにとって、ぜひとも手に取りたい書である。



「川上善兵衛ものがたり」



本書は、非売品で出版の予定はないが、今年、長岡（11月24日）と新潟（12月9日）で開催する「岩の原ワインを楽しむ会」で、希望者に配布される予定。

お問合せ 株式会社岩の原葡萄園 TEL：025-528-4002

いしずえ上越

日本列島4島がすっぽり入る円の中心にあって、「直江津うみまちアート」などで今、注目の直江津。その直江津が近代化する礎（いしずえ）とは何であったのか。前号（その1）でも好評を博した、桑山有紀様のご寄稿（その2）をお届けします。

エドウィン・ダンがやってきた頃の直江津はどんな町？（その2）

桑山有紀（直江津出身、札幌在住）

直江津は、江戸時代には北陸街道から除外されていました（富山から新潟へ向かう人も直江津を通らず高田への迂回を余儀なくされました）が、明治に入り高田藩の制約から解放され交通の要衝として発展しました。

M22年の安国寺区や八幡区等8大字の合併やM19年の信越線（直江津～関山）及びM30年の北越鉄道（春日新田～鉢崎）開通を機に、町内の主要道路が開設されていきました。

町史では以下の通り記載されています。

- ①「直江津橋から中学校（南校舎）前を通り曙区通りから安国寺区通りを経て五智国分寺裏まで（今の直江津五智街道）の街道はM18年信越鉄道上り線の出来た翌M19年にできた路線でそれ以前はなかった。」
- ②「M30年北越鉄道敷設されるや今までの直江津駅を曙区通りの突あたり現在の処に移転し同時に曙区通り四ツ屋区通りを開いた。」
- ③M23年に中嶋道路（新町の町役場西通り寄町～四ツ屋区）、M24年に中町道路（新町の町役場東通り寄町～旭区）、M32年に横町新道（横町十字路～今の中学校（旧南校舎）前迄で即ち警察署前通り）が開設された。

写真1はダン達が直江津にやってきた頃の駅前風景です。

いかやのシンボルだった八角形三層建物はまだなくて、正面奥に駅舎があります。いかやの駅前支店完成の記念写真のようです。M31年の直江津駅の移転を機にいかや以外に船屋や古川屋等が駅前に進出し、通りは一気に賑やかになったことでしょう。



写真1 直江津駅前（直江津絵葉書）

その後も新しい道路の整備はありましたが、明治時代に開設された南側の主要な通りは、私の子供の頃の昭和30年代もほぼ同じではないでしょうか？荒川への架橋はM4年が初めてで、次々に橋が架かり流失も相次ぎました。



写真2 永代橋 (写真集 ふるさとの百年 上越 新潟日報事業社 S57年発行)

M30年代後半では、上流から直江津橋、荒川橋、そして写真2の永代橋（古城と新川端町の間。M30年流失 /M36年復旧、昭和に老朽化の為撤去）の3本がありました。

人口は府中史研究によるとM4年では5,717人でしたが、M28年は10,911人、M29年は14,417人と急増し、目覚ましい成長過程の最中にダン達がやってきました。明治の中頃、直江津の商家では多くガス燈を灯していたとのこと、その暖かい光に照らされた雁木の街並みはダン達にとって初めて見る風景だったでしょう。

その後インターナショナル石油は製油所を操業しましたが、原油を十分に確保できなかったこと等からM40年に撤退しダン達も直江津を去りました。日本石油に引き継がれた直江津製油所はT11年に廃止されました。工場の所謂赤煉瓦異人館は廃墟になりましたが、姿を変え残った建物があるのです。それは宿舎だった木造2階の建物で、移築（低層は一部改造とのこと）されてT3年から約60年頸城鉄道の新黒井駅舎として活躍しました。（写真3参照）駅が廃止されたS43年には高校の学年全体で新黒井駅を訪問しました。

今はもちろん実物はありませんが、その画像やスケールモデルは軽便鉄道や鉄道模型のファン達に愛され続けています。 (完)



写真3 (頸城鉄道 新黒井駅 (頸城自動車ホームページより))

シルバー川柳 募集 ー上越シルバーネット

今月は、「たより」10月10日号とともに、上越タイムス社の「60才からの情報交流紙 上越シルバーネット」が同封されています。

その上越シルバーネットでは、当会会員の皆様からのシルバー川柳をお待ちしています。お気軽にご投稿してください。

「遠くでも 投句でトーク 元気出る」

投稿要領詳細は、同封の上越シルバーネット P.2 をご参照ください。

会員ひろば

上越タイムス紙の読者投稿欄「ひろば」では、8月は「絆」をテーマに投稿が掲載されましたが、8月19日、当会の大坪満男会員のご投稿も掲載されました。

ふるさとを離れてからのご苦労やご成功、感謝、そして古里のすばらしさと古里へのあふれる思い、会員の皆様にも同じ思いをされる方も多いと思います。

そこで、大坪会員のご了解と上越タイムス社様のご好意を得て、当欄に再掲載させていただきます。

古里に思いはせ

大坪満男 上杉村（現・三和区）出身、名古屋在住）

古里は遠きにいでて思うもの……。古里の良さは古里を離れた者にしかわからないことが多々あるとの思いをいたしております。

小生 84 歳。中学校卒業し名古屋に在住して 70 年になります。山あり谷あり、そしてまた山ありの人生でした。多くの人様との出会いに恵まれて、多くのご教授を頂いて、今あることにおかげさまと感謝です。

70 数年前に古里を離れる折の母の言葉。「人様にだまされても、人様をだます人間だけにはなるな」。今に生きています。

裸一貫からの人生でしたが、店舗も多いときには 8 店舗、従業員も 70 人と果物専門店として東海地区で一番になったことも…。折にふれて古里を思い起して、年に一度ご先祖さまと父母の墓に参っております。

越後をこよなく愛し、素晴らしい古里。60 数年前とそんなに変わっていない。幼い頃の、山があり川があって、そして心温かい人情がある。

折に触れ思い起こしながら、今年もコロナ禍が言われてはいるけれど、8 月に墓参に行こうと思っています。



上越産品販売のお知らせ

- J ネットふるさと市場として「取次販売商品一覧」を同封します。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧（A 3 版 1 枚）を同封にてお届けします。会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

- 上越特産市場

上越市運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場 <https://www.joetsu-tokusan.jp/login/input.php>」からご覧いただき、お申込み下さい。

- 「新潟・上越妙高うまさ直送！雪国マルシェ」
恒例の上越特産品販売の「雪国マルシェ」は、
下記にて予定しています。

日時 10月23日(土)、同24日(日)
11月27日(土)、同28日(日)
12月18日(土)、同19日(日)

会場 有楽町 交通会館1F。
開業時間 11:30 - 17:30

☆お問い合わせ先：JCV 東京情報センター 03 (5218) 7730

- 常設店舗 「雪国商店」

場所 有楽町交通会館1F。

営業時間 11:00 - 19:00 年中無休

(年末年始は休業)

ネットで「雪国商店」を検索してご覧ください。

雪国商店では、少しでもふるさとへ帰った気分を味わって
いただくよう、品揃えをしてお待ちしております。ネット「雪
国商店」でも検索してご覧ください。

「上越市を語ろう」－皆様の手で上越市の魅力を発信

当会HPでも会員以外の閲覧も多く、上越に関心や興味をお持ちの方は大勢おられます。
ところが、上越は意外と知られていないのが現実です。

上越線の走る上越との混同もしばしば、ましてや、当上越市の面積が東京23区の1.5倍、上越・
北陸の両新幹線が利用でき、東京から2時間の距離であること、歴史と豊かな文化、海と山に恵
まれ、食事やお酒がとびっきり旨いことなどは、あまり知られていません。これでは、観光や産
業の誘致、移住のお勧めもできません。

そこで、上越応援団たる会員の皆様をお願いします。広宣の最も強力な手段「口コミ」を活用し、
リモートを含むお集まりの際には、ひと言、上越についてふれていただき、上越の宣伝をしてい
ただきたいのです。よろしく願いいたします。

瀧川鯉橋師匠 出演予定

鯉橋：03-3845-1202

◇ 10/11(月)～20(水) 新宿末廣亭・夜の部

時 間：午後5時～8時半ごろ ※鯉橋は午後7時半ごろ出演。

木戸銭：3000円 主 任：雷門小助六。ほかに伯山・ねづっちなど出演。

お問合せ：03-3351-2974(末廣亭)

◇ 11/1(月)～5(金) 池袋演芸場・昼の部

時 間：正午～4時15分ごろ ※鯉橋は午後1時ごろ出演。

木戸銭：2500円(65歳以上500円引きなど、各種割引あり)

主 任：瀧川鯉朝。ほかに蝠丸、京太・ゆめ子など出演。

お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

◇ 11/7(日) 横浜にぎわい座・昼の部

時 間：午後2時～4時半 木戸銭：2900円(各種割引あり)

出 演：鯉橋ほか未定。お問合せ：045-231-2525(にぎわい座)

◇ 11/28(日) インターネット生配信の落語会

時 間：午後2時～4時ごろ。視聴料：無料

出 演：鯉橋、小助六、夢丸。

◇ 11/28(日) 春風亭柳昇一門会 2021・夜の部

- 春風亭昇々、真打昇進披露口上あり -

時 間：午後4時半～7時半ごろ 木戸銭：3500円

出 演：昇々、柳好、鯉朝ほか。鯉橋は午後5時半ごろ出演。

会 場：武蔵野公会堂(吉祥寺駅から徒歩2分)

◇ 12/12(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第35回)

時 間：午後4時～5時半ごろ 木戸銭：1000円。

出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの高座有り。

会 場：喫茶「ひとやすみボン」(板橋区若木2-34-15)

皆様、どうぞお気をつけてお過ごしくたさいますよう。

瀧川鯉橋拝

●●●●● ネットからのお知らせとお願い ●●●●●

記事、寄稿、投稿、メッセージをお願いします。

会員の皆様には、ぜひとも、ご自分の経験、上越の魅力、上越
に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構
ですので、記事(1200字程度まで)と写真を送信いただければ幸
いです。皆さまの貴重なお話は、読み手を元気にします。

送信先：k.miyazato@araipt.co.jp

コロナ禍の折、皆様には、くれぐれもご健康にご留意され、
お過ごしください



撮影 松川太賀雄さん

◎次号「たより」は令和3年11月25日の発行です。